安藤太郎　山本清堅等

ンダトレヂルオ受領シ及ヒ佩用タルフランツ第二等勲章以ルミリテールスアルナキモ多ク其村ノ祭禮ニ用ヒ來レルモノニシテ合國ニ設ケシモノニ非ルノミナラズ現ニ村民集合セシコトナク又元來是等ノ陰謀セナキトノ事

一法ニ因リ騒人襲撃ヲ請求セシモ裁判長ノ職權ニ依リ採容セサリシトノ事

一被告ハ明治十五年十一月二十六日ヨリ警察官ニ引致セラレ暴舉ノ當日即チ同月二十八日ハ拘留中ノ身分ニシテ右暴舉ニ關與セサルハ勿論又赤城平六宅ニ一度モ參集シタルコモ無シと云々トノ事

以上ノ事實ナルコ刑法第百三十七條ヲ適用シ處斷セラレシハ誤律錯誤ノ裁判ナリトノ事

一大審院ニ於テ明治十六年五月二十三日公庭ヲ開ク專任判事報告書ヲ朗讀ス上告代言人伊藤經上告ノ旨意ヲ申暢ス立會檢事憲見ヲ陳述シ且附帶ノ上告ヲ爲セリ玆ニ裁判スル理由ハ

凡ソ証憑ヲ採擇シテ罪ノ有無ヲ判定スルハ事實裁判官ノ權内ナリト雖ども若シ錯誤ヨリ成立タル事實ニシテ其理由ノ明確ナラサルニ於テハ法律ノ許サヽル所ナリ抑本件ノ如キ被告ガ車道開鑿施行上ニ付縣官郡吏ノ措置ヲ不當ナリトシ公判ヲ仰クヲ名トシ果シテ耶麻其他諸郡ノ村民ヲ煽動シ明治十五年十一月廿八日喜多方警察署ニ對シ喧鬧スルニ至クシメシモノト爲スニハ其之ヲ煽動シタル事實ノ理由ヲ明示セサルヘカラス其每村ニアリシ太鼓番木及ビ赤城平六宅ニテ押收セシ刀鎗及ビ太鼓等ヲ以テ多衆ヲ嘯聚セシ証據ト爲スニ明治十五年十一月廿六日ニアリテ既ニ逮捕セラレタル被告カ其逮捕中即チ十一月廿八日ニ於テ如何ナル手段方法ヲ以テ其太鼓番木及刀鎗等ヲ使用セシカ抑他人ヲシテ之ヲ使用セシヲ以テ村民ヲ集合喧鬧セシメタルヤノ實跡ヲ審ゲザルヲ得ズ右等事實ノ理由ヲ明察スルコ非ラザレハ右事件ハ被告ガ所爲ニ相關スルノ証憑トナスコ由ナシ又原裁判文ニ共犯人等ノ供述トアルモ何人ガ何等ノ陳供ナルヤ原一件書類ヲ視ルニ被告カ車道開鑿施行上ニ付縣官郡吏ノ措置ニ服セズ現ニ其筋ノ裁判ヲ仰クベシトノ周旋ヲ爲セシ廉アルモ他ニ被告ガ犯罪ノ証憑トナルモノ一モ見ルヘキナシ又原判文法律ノ部内ニ於テ（首魁及教唆者ハ重懲役ニ處ス）トアルニ係ルモノトスト雖ドモ之ニシテ被告ハ果シテ首魁ナリシヤ教唆ナリシヤ是亦其理由ヲ知ルベキナシ要スルニ原裁判ハ本案ニ付事實ノ理由及法律ノ理由ヲ付セザル而已ナラズ被告ヲ有罪トシ暫ク刑法第百三十七條第八十九條第九十條ニ照シ輕懲役七年ニ處スト言渡シタルハ事實組織即チ法律ノ錯誤ニ係ル不法ノ裁判ニノ治罪法第四百十條第十項ノ場合ニ相當スル破毀ノ原由アルモノトス因テ治罪法第四百二十八條第四百二十九條ニ據リ原裁判ヲ破毀シ更ニ本院ニ於テ裁判ス左ノ如シ

判決

當理由ノ如ク坂内代五郎ハ犯罪ノ証憑ナキニヨリ治罪法第四百一條ニ照シ無罪直ニ放免ス

檢事堀田正忠立會宣告ス

明治十六年五月廿四日

裁判長判事　岡内重俊
專任判事　國義臣
判事　瓜生愚
同　入江直方
書記　黑岩安津志

時事新報

日本人ハ果シテ朝鮮ノ誘導者タルカ

朝鮮ヲシテ永年獨國ノ夢ヲ覺セシメ漸ク外國ト交通往來ス（ナリ）ルニ至ラシメタルハ何人ナルヤ我日本人ナリヤ支那人ナリヤ

本人ハ今ノ勢ニ乘シテ益朝鮮ノ開國ヲ計リ與ニ東海ノ表ニ立テ興ニ文明ノ德澤ニ浴シ同シク富國强兵ノ幸福ヲ享ケントスルノ友誼ヲキヤ朝鮮ヲ開明ナラシメ朝鮮ヲ富强ナラシメ能ク其獨立國タルノ体面ヲ全クシテ隣國我日本ト輔車相依リ遠ク其光ヲ世界ニ被ラシメンヿ我日本人ノ情願ナリ物ニ接スルニ道アリ人ニ說クニ法アリ大象ノ大ナル棍棒ヲ揮テ其臀邊ヲ毆打スルモ以テ痛痒ヲ感セシムルニ足ラズ然ルニ纖手其頂門ヲ拍ケハ全體ヲ感動セシテ餘アルベシ又吾人ガ髮結床ニ至リテ頭髮ヲ理スルニ當リ床ノ生人針大ノ箸端ニ數片ノ羽毛ヲ括リタルヲ右手ニ執リ左手ニ耳邊ヲ撫シテ此針大ノ箸端ヲ耳孔ノ裡ニ轉回セシムルニ吾人ノ其激動ヲ感スルヿ天地モ崩ルヽカト思フバカリナリ然ルニ此箸ヲ執テ試ニ掌上ヲ拂拭センニ何ノ痛痒モナカルベシ今朝鮮ト交際シ之ヲ文明ニ誘導セントスルニ第一ノ肝要ハ勞力ヲ徒費セザルニ在リ棍棒ヲ揮テ臀邊ヲ毆ヲ細箸ヲ執テ掌上ニ轉スルガ如キノ所爲アラバ其目的ノ結果ニ到達スルハ何レノ日ニ在ルカヲ知ルベカラズ此理明治九年日韓條約締結以來ノ事蹟ニ徵シテ明白至極ナルベシ故ニ苟クモ朝鮮ヲ誘導スルノ義心アラバニハ必ズ先ヅ其頂門耳孔ノ所在ヲ明カニシ一拳手一投足ノ勞一錢半紙ノ費モ悉皆其頂門ヲ撫シ耳孔ヲ拂フノ一焦点ニ集メザルベカラズ朝鮮ノ頂門耳孔ハ何レニ在ルヤ其國都漢城是ナリ政治軍國ノ事ト云ヒ學藝商工ノ事ト云ヒ朝鮮百般ノ事物漢城ヲ中心ト爲ザルハナシ漢城ニシテ一タビ文明ノ德化ニ歸セハ他八道ノ草木ハ催促ヲ俟タズシテ其風ニ靡クベシ朝鮮ノ交際通商ハ漢城ヨリ先ナルモノアルベカラザルナリ

明治九年日韓條約締結ノ後慶尙道ノ釜山浦ハ貿易港ノ一ト定リ日本トノ往來甚近クシテ便利ナルガ如シト雖モ朝鮮國東南隅ノ僻陬ニシテ京城地方トノ交通甚便ナラズ之ヲ我日本ニ譬レハ德川時代長崎ニ貿易港ノアリシ時ノ利ニ異ナラズ次ニ城鎭道元山津ヲ開テ貿易港ト爲セシト雖モ是亦北海ノ僻地ニシテ京城接近ノ地ニアラズ之ヲ譬レハ新潟ノ東京ニ於ケルト一般ナルベシ長崎釜山ノ二港ニ往來シテ大ニ日本ノ貿易ヲ進メ得ベシトモ思ハレズ大ニ日本ノ文明ニ益スベシトモ思ハレズ必覺スルニ生業勞シテ其功少ナキモノト云フベシ果シテ大ニ日本ノ文明ヲ進メ普ク貿易ノ利益ヲ知フシメントスルニハ宜ク進テ橫濱ニ往カザルベカラズ又更ニ一歩ヲ進メ東京ノ中央市場ニ入ラザルベカラズ是則チ朝鮮ト交際貿易ヲ爲スニハ必ズ京畿道ノ仁川港ニ進ル進ヲ揚ル進ヲ揚ル進ヲ揚

九年二月ヨリ至八十二箇月ノ後即チ明治十六年一月ニ至リ始メテ仁川開港ノ沙汰アリタリ未タ開港ノ沙汰ナキ間ハ是非モナキコトナレトモ既ニ開港ノ上ハ片時モ遠カニ此港ニ往來スルノ用意ナカルベカラス然ルニ本年一月以來仁川ハ開港セラレタリト聞スルノミニシテ日本ヨリ同港ヘ往來スルノ便アルヲ聞カス我輩ノ憾ムトコロ殊ニ彼ノ軍艦ノ星航ヲ除ク日本船ニシテ仁川ヲ往來セサルハ一月以來二回ニ過キサルガ如シ聞ク仁川開港以來日本商人ノ渡航スル者少ナク貿易ノ盛ナルヲ聞カス我日本政府ハ大ニ朝鮮幷ニ魯國「サイベリヤ」地方ノ貿易交通ヲ盛ンニシ貿易交通上第一ノ要事ハ郵船ノ往來ヲ開クニ在ルヲ察シ三年以前ヨリ神戸、馬關、長崎、朝鮮釜山浦、元山津、魯國浦潮斯德ノ間ニ毎月一回ノ定期郵船ヲ往來セシメタリ然レトモ今漢城咫尺ノ仁川港ヲ取テ之ヲ浦潮斯德、元山津等ニ比スルニ其輕重ヲ如何テヤ浦潮斯德、元山津等ハ日本政府ノ注目ニ關レスヤ一月一回郵船ノ往來スルアリ況ヤ浦潮ノ横濱トモ稱スベキ仁川港ニ於テヤ一月三回ノ往來ヲ為スモ尚足ラサルヘシ本年一月以來仁川ハ既ニ開港シタリト云フモ開港ノ名ノミニシテ開港ノ實ヲ見ス蓋シ五百「マイル」ノ海上往來ノ船便ナキガ故ナリ貿易商人ハ汽船會社ノ主人ニアラザルヲ以テ自家ノ商品ヲ自家ノ船舶ニ搭載シ人ノ保護ヲ仰ガズシテ日本國ノ富强ニ賴スルノ工夫ナケレバナリ仁川ノ開港ハ既ニ八十二箇月サヘ延引シタル程ノ然ル所以ニハ目下尚開港前ノモノトシテ强テ之ヲ顧ミサルトスルモ敢ノ鳴梁渡頭ノ楊華鎮即チ東京ノ品川トモ稱スベキ漢城南大門外ノ開市場ハ來ル九月ヲ期設スルノ約束ナリ是亦往來ノ船便ナクバ徒ラニ名ノミノ開市ニシテ終ルナランカ之ヲモ能ク忍ビテ無キ昔ナリト謂フメントセンニハ寧ロ最初ヨリ朝鮮ノ誘導者タル重任ヲ辭シ鎖國退守世界萬國文明ノ活劇場ニ出現スルノ念慮ヲ絶チ報然トシテ人後ニ逡巡スベキ[illegible]ルベキ支那ノ都商船ハ仁川、[illegible]仁川、上海ノ間ニ定期郵船ヲ開キ[illegible]既ニ漢城ニ在留公使ヲ送リタリ以テ[illegible]利ノ[illegible]日郵船ノ往復ヲ始ムルナルベシ[illegible]ハ[illegible]ノ如タ[illegible]ト為ナラズ我輩ハ日本國人ニ向テ速カニ意ノ向フ所ヲ決センコトヲ希望スルナリ

雜報

○臨幸　聖上ハ曾テ前號ヘ記載セシ如ク一昨廿六日午前九時浜阪仮皇居御出門御臨幸ハ山口侍從長卿、竹内三等侍醫、岡内國禮少書記官、是崎宮內權少書記官、片岡、西三條、高里小路の三侍從ハ同九時四十分農商務省ヘ臨御夫ヨリ同卿先導ヨリ各局課事務取扱ヒヲ親シク　天覽ヨリ直ニ議事堂ニ於テハ此程ヨリ同會の製絲諮問會ハモ臨ませ給ひ同會員ハ議事の模樣ハモ御覽ヨリ午前十時五十分還幸在らせられ[illegible]ヨリ[illegible]

○皇后宮御國辰　本日ハ皇后宮の御誕辰ニ付同宮ニハ大禮服ヲ着けさせ給ひて午前八時賢所及ひ神殿ヘ御參拜在せられ夫ヨリ宮中ニ於テ御儀式を執行せ給ひ同[illegible]皇后宮ニモ亦阪御殿ヘ成せられ　聖上皇后宮御一同御內儀ハ於テ皇族大臣參議の賀表を聞シ召され畢テ御陪食を仰付られ夫宮內省の奏任官以上ヘ酒饌を賜リ且皇后宮ハ御儀式を執行せ給ひ同[illegible]皇后宮ニモ亦阪御殿ヘ成せられ　聖上皇后宮御一同御內儀ハ於テ皇族大臣參議の賀表を聞シ召され畢テ御陪食を仰付られ夫宮內省の奏任官以上ヘ酒饌を賜リ且皇后宮ハ御儀式を執行せ給ひ同[illegible]

○露國皇帝即位式　頃テ我紙上ヘ記載せし露國皇帝陛下の即位式ノ意昨廿七日を以テ本國ハ於テ大禮式を執行せられしハ付同日ハ我　天皇陛下ヨリ德大寺宮內卿ヲ勅使トシテ在日本同國公使館ヘ差遣ハされ其祝意を表するの趣旨を傳へられたり又同公使ハ同日夜會を催ほされ皇族の諸宮を始め吉田外務大輔黑田同少輔其他貴顯の方々及び各國公使横濱在港の同國人等を招せられて盛んなる祝宴を開れさりとぞ

○パークス氏　本月上旬東京駐在ハ英國公使パークス氏ハ北京駐在の同國公使ハ轉任の命ありし曾倫敦より電報ありて以來既ニ二週日ヲ過ルハ今日ハ至るまで同氏が此轉任を承諾するや否の沙汰ハ[illegible]ハ甚だ苛しきことあり風說ハ依れハ此事に付支那政府ヨリ何ら異存申出でさることありて英國政府ヨリも內々心痛致し居るよしその邊の內情ハ未だ此榮轉の御請もあきやと云へり虛實果して如何

○李鴻章　一昨日東京の或る方ヘ清國上海より達したる電報ハ李鴻章ハ南洋都督として昨日當上海ヘ來[illegible]軍備顧ありとありたるよし[illegible]の時事新報ハ同氏ハ南洋都督の任命を辭したるよし風說する旨清國より通信の僅を話したるが今此電報ハ趣ハ依れと同氏は矢張此重任ハ當ル居るハと思ハる李氏ハ安南事件ハ難局ハ當リ文才と武略とを以て佛國を折衝せんとするハ其結局は平和戰爭何れハ定まるべしや

○安南事件　佛國ハ東京ハ遠征するとの報知一さび支那地ハ達してより同地の人心洶々たるを一方ハ[illegible]す是ハ由て佛國甲鉄艦數艘を上海香港の近海ハ碇泊せしめと必要あれハ支那艦隊ハ屬する佛國軍艦ハて[illegible]又當時安南駐在の佛國[illegible]ーズ氏ハ佛國ハ安南管理ハ任せらるヘキと四月[illegible]

○フート氏　去る九日長たる米國公使フート氏の國京城ヘ到着せし旨此程

○公使任罷　四月十四日特倫敦露國公使館附き秘本駐在ハ露國公使に任せ公使ブッツウ氏は既ハ其

○ヤコクレール氏　佛國此程病ハ罹り頗る危篤ハ

○野村驛遞總官　野村驛遞總官北海ハ諸道郵便線路巡回出張ハ

○出立延引　前號ハ品川共ハ一昨廿六日北海道ヘ[illegible]に使ハ當地出立を來る六

○出京　會計檢査院長[illegible]月下旬迄ハ出京の旨通報

○布告布達　太政官第十[illegible]限制定ハ旨幷ハ同十八[illegible]廢止の旨何れも一昨日布[illegible]數幷ハ造幣規制更ハ制[illegible]五號を以て布達ありさ[illegible]ハあり就て見ハるへし

○高等法院　同院ハ於テ[illegible]公判下調は一昨日ハて[illegible]廣中氏外數名の公判を開[illegible]

○文書局　太政官ヘ新聞[illegible]れ次ヘ列せらるヘ旨一昨[illegible]又同局より發行の官報[illegible]載すべ[illegible]原稿を取寄せ[illegible]聞のもれを同局より內[illegible]の發兌ハ來る六月一[illegible]同局よりハ專ら其用意[illegible]ハと且つ本紙ハ詳紙[illegible]由に聞く

○海軍兵學校　今度築地校ハ此程已ハ落成しさ[illegible]課ヘ引渡ヘ同課ハ[illegible]も同校の郷台に依り右[illegible]り當同校の間ヘ學務[illegible]